

令和2年度第2回山形県地域訓練協議会

議事録（書面開催）

令和3年3月17日

令和3年2月26日付け山形労発安0226第1号で通知しました令和2年度第2回山形県地域訓練協議会の書面開催につきまして、下記のとおりとなりました。

議題3につきましては、全委員より承認のご回答をいただきましたので、別添のとおり改定させていただきます。

議 題

1 最近の雇用情勢について

（ご意見等）

- ① 新規学卒者の内定率が若干低下しているのが気になるところです。若者の定着は地方活性化のためにも重要でもあれば、中小企業にとっても若年労働者確保のチャンスなので、一層企業に働きかけてほしい。
- ② コロナウイルスの感染拡大前と後の離職理由で、事業主都合の数値がそれほど変わらないのは、雇用調整助成金や給付金の影響によるものと考えてよろしいでしょうか。また、令和2年10月の事業主都合による離職が前後月と比べて増えている要因をご教示下さい。
- ③ 有効求人倍率は底打ちしたように見えるが、コロナウイルスの拡大によっては下がる可能性もあり注視しなければならない。
- ④ 高卒者の就職内定率も数ポイント下落しているようですが、都市への不安から県内希望者は下落率は低いようです。学卒以外の者の就職戦線は依然として厳しいものになってくることが予想され、資格取得等の対策が益々重要になってくるのではないかと思います。
- ⑤ 有効求人倍率は前月比プラス推移しているものの、景気判断の多くは新型コロナウイルス感染症の影響により依然厳しい状況にあるとしており、雇用情勢に応じた機動的な職業訓練の実施が望まれていると考えます。
- ⑥ 核家族が増加しており、他のコミュニティー（家族単位）との関わりが希薄になっている、と感じている。高齢者の介護を目にする機会も減っている。介護に対するイメージ（3K、8K）が先行しており、就職先には薦められない、家族の反対もあり就職先に選ばれないこともあると伺います。より低年齢時に身近な職業としてとらえられるようになればと思います。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症が、本県の雇用に与える影響については、正社員求人

数の減少や雇用保険受給者が増加しており、今後も継続して注視する必要があります。また、引き続き関係機関との連携を強化し、本県産業界のニーズに合った職業訓練を実施し、学生、在職者及び求職者の職業能力開発の充実に努めることが必要と考えます。

- ⑧ 高校生の求人については、コロナ禍においても多くの求人を確保していただき、関係者のご尽力に感謝したい。

(事務局)

上記②の質問の回答

- 一 コロナウイルス感染拡大前と後の離職理由で、事業主都合の数値がそれほど変わらないことにつきましては、ご指摘のように雇用調整助成金（コロナ特例・緊急雇用安定助成金を含み、令和3年2月までの山形労働局累計 支給申請件数約2万5千件、支給決定金額約177億円）の効果等によるものが大きいと考えています。なお、休業支援金・給付金については、事業主から休業を命じられたが、その間の賃金（休業手当）が支払われない場合に、ご本人の申請によって支給するものであり、雇用維持とは目的が異なるものとなっています。
- 二 令和2年10月の事業主都合による離職が前後月と比べて増えている要因につきましては、派遣労働者の雇い止めや製造業事業所で大量の人員整理が行われたこと等があげられます。

2 令和2年度公的職業訓練の実施状況について

(ご意見等)

- ① 受講者数の低下は残念である。これからの山形県の産業界にとっては、より高度の技術をもった労働者が増えることが重要であると考えます。
- ② コロナウイルスの感染拡大で公的訓練に限らず、あらゆる機会が制約された1年だった。求職者支援訓練の一部中止、公共職業訓練の就職率低下は好ましいことではないものの、いたしかたなかったと受け止めている。
- ③ 介護、保育士の不足が言われているが、応募者が少ないように思われる。
- ④ ワクチン接種がある程度進展したとしても、社会の状況はそう簡単に好転するとは考えにくく、今後の見通しを厳しめにみて対応策を講じることが重要であると考えます。
- ⑤ 訓練の機会を増やしたにもかかわらず、結果として、求職者数が想定以下で開講中止もあったとのことですが、雇用情勢の悪化を見込んでの当初の訓練計画を大きく超える認定をしていただいたことは、求職者の就職の選択肢の幅を広げることにつながったのではないかと考えます。
- ⑥ 令和2年度の求職者支援訓練及び県の委託訓練に係る訓練コース設定について

は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、その時々において、本県の雇用情勢に合わせた柔軟な対応が必要でしたが、山形労働局が中心となり、関係機関が連携・調整して混乱等なく進めることができております。また、令和2年度の県が実施する委託訓練の令和3年1月現在の就職率は、暫定で67.1%（昨年同期66.5%）であり大きな変化は見られなかったものの、目標とする就職率（75%）に達することが出来なかったため、就職率向上に向けた取り組みが必要です。

- ⑦ 新型コロナ感染拡大の影響もあり、運営に困難な部分もあったと思うが、今後とも継続して雇用の安定に務めていただきたい。

3 令和3年度山形県地域職業訓練実施計画（案）について

承認する	13委員全員
承認しない	0

（ご意見等）

- ① これからの労働者にとって技術を身につけることが重要であることをもっとアピールしてほしい。
- ② コロナ禍で求職者が減少した背景の1つに、転職控えがあるのではないか。景気が落ち込んでいる時は、仕事もなるべく変わりたくないもの。支援訓練の受講者数への影響は継続するのではないか。
- ③ ウィズコロナでの計画の取り組みとなるが、集合での訓練が出来ないことが想定されることから、計画にもあるオンラインの効果的な活用で参加者を増やせるようお願いしたい。
- ④ コロナ禍による雇用情勢を勘案し、令和3年度にポリテクセンター山形が実施する離職者訓練の定員は298人（昨年度から24人増）、求職者支援訓練の定員数は450人（昨年度から80人増）、上限定員数は837人（昨年度から96人増）となった。来年度も引き続きハローワーク等と連携をとりながら、訓練受講者の増に努めたい。
- ⑤ 計画（案）の5項目は適格なものと考えます。
- ⑥ 職業訓練実施計画は人材不足が深刻な分野、成長が見込まれる分野に重点を置くことは当然ですが、公共職業訓練として実施が難しいマイナーな分野にも光をあてることはできないかと考えています。現在、当協会が関係している建設業関係の団体では労働力の確保が厳しい状況にあることから、ポリテクセンターのご指導のもと求職者支援訓練の認定申請を準備を進めていますが、団体単独では認定要件に該当しないなど認定のハードルが高い状況にあります。人材ニーズはある

が民間の教育訓練機関での実施が難しい分野についても、職業訓練の実施に結びつくようコーディネートしていただくことにより労働力の確保に結びつく業界も少なくないのではないかと考えます。また、受講者の募集にあたっては、ジョブカードも活用したキャリアコンサルティングにより、求職者の特性に応じた受講の斡旋をしていただくことで労働力需給のミスマッチの解消につながるのではないかと考えます。

- ⑦ 令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響に注視し、県内の雇用情勢に合った職業訓練の実施に取り組む必要があります。特に、求職者のための職業訓練については、訓練定員の増や重点分野の訓練コースを設定するなど、新型コロナウイルス感染症に対応した取り組みを行うため、より一層、関係機関との連携強化が求められているところです。また障がい者のための職業訓練において、訓練コースの充実及び就職率向上を目指し、eラーニングコースの新規設定、インターンシップコース（OJTによる実践訓練）のための企業開拓などを実施する計画であり、受講者の募集及び就職支援について御協力をお願いします。加えて、庄内職業能力開発センター施設内訓練（金属技術科）の受講募集についても、引き続き、御指導・御協力をお願いいたします。
- ⑧ 計画のとおりで異論なし。

4 生産性向上人材育成支援センター業務について

(ご意見等)

- ① 生産性向上にとって重要な役割を果しているが、その存在意義を高めるためにも、就職率の向上に一層尽力してほしい。労働者にとって技術を身につけても就職できなければ魅力に欠けると思います。
- ② 生産性向上支援訓練は当協会も実施しており、毎年好評を得ている。
- ③ 在職者訓練、生産性向上支援訓練について、関係機関と連携をとりながら、広く県内企業に周知し、より多くの在職者の方に利用していただけるよう努めたい。
- ④ 在職者訓練以外大きく上回る数値を残しておる関係で、令和3年度本部指示数が、特に生産性向上支援訓練の指示数の増加は著しく大変でしょうが、その数にとらわれ過ぎないように、地道な訓練になるようお願いします。
- ⑤ 企業の成長・発展を図るためには、技術の進歩等に対応できる人材の育成が不可欠であり、人材育成支援センター業務は今後とも継続して実施していく必要があります。当協会が実施している技能の向上を目指す「ものづくりマイスター派遣事業」は経営者の理解を得ることが先決となっており、人材育成支援センター業務についても経営者向けのPRを強化すべきと考えます。
- ⑥ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、オーダーメイドコースを積極的に実施されるなど、当該感染症を心配する企業ニーズにマッチした

訓練スタイルを実施されたように思います。令和3年度においても企業ニーズを捉えた訓練の実施に期待します。加えて、県立職業能力開発施設の在職者訓練においても情報の共有等をお願いいたします。

- ⑦ 今後とも雇用への支援を充実させる役割として、必要なスキルの指導を継続していただきたい。

5 その他、ご質問・ご意見等」などについて

(ご意見等)

- ① 全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大の終息が見えない中、山形県内の状況を踏まえ、その都度、臨機応変に各種の対応を図っていただきたいと思います。
- ② 通常の会議が出来るようになるため、互いに頑張りましょう。